第４次総合計画　管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和７年度

施策コード	813	施策	働きやすい職場づくり・人材育成の推進
管理事業	人事管理事業	所管部局	総務部

1	所管室課	人事室	事業名	人事管理事業

事業概要

被服貸与、公務災害、人事システム運用、吹田市適正職務等第三者審査委員会、特別職報酬等審議会（本年度該当なし）

活動実績

（１）被服貸与
　職場に応じて、必要な職員に作業服を貸与した。
（２）公務災害補償
　地方公務員災害補償法に基づく条例等により、会計年度任用職員に対する公務上の災害等についての補償を実施した。
　療養補償　3名、休業補償　1名
（３）人事給与システム運用
　保守費　23,531千円　改修費　38,795千円
（４）人材マネジメントシステム運用
　保守費　12,760千円　構築費　6,688千円
（５）吹田市適正職務等第三者審査委員会
　開催　2回
（６）人事評価システム運用
　使用料　5,940千円
（７）職員採用の実施
　採用者数　99名

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
決算額（千円）	358,659	429,398	464,014
一般財源の比率(%)	97.4	96.9	98.7

事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題

人事評価を効果的に人材育成につなげるため引き続き検討を行う必要がある。
社会情勢等を踏まえた効果的な職員採用を実施する必要がある。
人材マネジメントシステムを活用した適材適所の人事配置を行う必要がある。

評価の視点

※課題があるものは■
- □ 市民ニーズ、社会的役割
- ■ 有効性
- □ 効率性
- □ 公平性
- □ 持続可能性

今後の実施計画の方向性・内容

継続

適切な人事管理に努める。

2	所管室課	人事室	事業名	退隠料及び遺族扶助料事業

事業概要

退隠料及び遺族扶助料

活動実績

対象者１名に年４回、遺族扶助料を支給した。

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
決算額（千円）	1,338	970	989
一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0

事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題

特になし

評価の視点

※課題があるものは■
- □ 市民ニーズ、社会的役割
- □ 有効性
- □ 効率性
- □ 公平性
- □ 持続可能性

今後の実施計画の方向性・内容

継続

引き続き適正に支給する

上記以外の予算事業　　※　当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第４次総合計画　管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和７年度

施策コード	813	施策	働きやすい職場づくり・人材育成の推進
管理事業	人事管理事業	所管部局	総務部

3	所管室課	人事室	事業名	職員研修事業

事業概要

職場内研修、主催研修、外部派遣研修、自主研修

活動実績

（１）職場内研修
　各職場内での研修に係る経費を人事室予算から支出することにより支援した。
（２）主催研修
　職階や職責に応じた階層別研修及び実務研修などの目的別研修を実施した。令和５年度から動画研修パッケージを導入し、職員が自ら効率的に研修できる仕組みを整えた。
（３）外部派遣研修
　市町村職員中央研修所などの外部研修機関が主催する研修への職員派遣及び省庁に職員派遣を実施した。
（４）職員自主研修
　職務に有益な資格取得への支援、自主的な研究グループへの支援を行った。
＜研修参加者数＞

［単位：人］

		R5	R6	R7
職場内研修	：	6,867	7,596	7,081
主催研修	：	9,435	12,304	10,564
外部派遣研修	：	434	400	437
自主研修	：	66	118	133
計	：	16,802	20,418	18,215

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
決算額（千円）	20,856	24,075	31,951
一般財源の比率(%)	96.2	96.3	98.1

事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題

　人材育成として総合的・計画的に職員の成長支援を行い、職員の能力開発、組織力の強化を進めていくことが重要である。実務における基礎能力の向上を図るとともに、時代の変化や市民ニーズを的確にキャッチし、自ら考え自ら行動できる職員を育成することが必要と考える。
　職員一人ひとりが果たすべき役割を自覚し積極的に研修に参加する意識づけが必要である。

評価の視点

※課題があるものは■
- □ 市民ニーズ、社会的役割
- ■ 有効性
- □ 効率性
- □ 公平性
- □ 持続可能性

今後の実施計画の方向性・内容

継続

引き続き人材育成の推進に取り組む。

4	所管室課	人事室	事業名	職員厚生事業

事業概要

安全衛生、職員健康管理、更衣ロッカー配付、職員厚生給付、公務災害（見舞金）

活動実績

（１）安全衛生
　産業医による職員の安全衛生管理等を実施した。
　産業医による健康相談　実施件数・・・362件
　臨床心理士によるこころの健康相談　実施件数・・・125件
　メンタルヘルス研修（疾病予防講習会）参加人数・・・1,428人
（２）厚生事業
　職員の福利厚生に関する各種事業を実施した。
　カフェテリアプラン　延べ32,996名に補助（１件350円）
　職員健康管理支援　人間ドック等の自己負担の1/2を1,250名に補助（上限5,000円）
（３）健康診断
　職員の疾病の早期発見と健康の保持増進を図るため、定期健康診断をはじめとした各種健康診断を実施した。
　　定期健康診断受診率・・・94.1%
　　※定期健康診断代替検診（人間ドック317人等）受診を含む。

年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７
決算額（千円）	67,826	67,952	68,570
一般財源の比率(%)	99.2	99.2	99.1

事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題

　更衣ロッカー配付にあたって、女性職員の増加及び本庁舎の狭隘化によりロッカー配置場所の確保が課題となっている。
　定期健康診断等の受診率は近年上昇傾向にあるものの、受診率100%を目指し、引き続き未受診者に受診勧奨をしていく必要がある。

評価の視点

※課題があるものは■
- □ 市民ニーズ、社会的役割
- ■ 有効性
- □ 効率性
- □ 公平性
- □ 持続可能性

今後の実施計画の方向性・内容

継続

職員の福利厚生・健康管理に取り組む

上記以外の予算事業　　※　当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第４次総合計画　管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度	令和７年度

施策コード	813	施策	働きやすい職場づくり・人材育成の推進
管理事業	人事管理事業	所管部局	総務部

5	所管室課	人事室	事業名	職員会館管理事業

事業概要

職員会館管理

活動実績	年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	評価の視点
吹田市職員厚生会に補助金を交付し、職員会館の維持管理を行った。	決算額（千円）	13,394	11,422	12,447	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
	一般財源の比率(%)	84.5	82.5	84.1	
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
	耐震性が確保されていないこと、築年数の経過により老朽化が進行していること、社会変容や職員ニーズの変化に伴い利用者が著しく減少していることから、令和８年３月31日をもって機能を廃止した。				今後の実施計画の方向性・内容 廃止 老朽化等の問題により安全に管理することが困難であり、機能を廃止するだけでは維持管理コストも発生することから、建物の除却を行う方針である。

6	所管室課	法制室	事業名	コンプライアンス推進事業

事業概要

コンプライアンス推進

活動実績	年度	Ｒ５	Ｒ６	Ｒ７	評価の視点
公益内部通報の事案について、調査及び調査結果の報告を行った。 不当要求行為に係る事案はなかった。 カスタマーハラスメント対策として、職員向けの相談窓口を開設・運用するとともに、対応方法に関する職員研修を実施した。	決算額（千円）	103	278	1,938	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
	一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				
	吹田市社会通念上相当な範囲を超えた言動による職員の被害の防止に関する条例に定められた相談窓口の設置、通話録音装置の設置、職員研修の実施等の職員の被害防止のための取組について継続的に取り組み、職員の被害の防止に努めていく。				今後の実施計画の方向性・内容 継続

上記以外の予算事業　　※　当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名